

## ニホンリス (学名: *Sciurus lis*)

[リス科 リス属]



▲夏毛のニホンリス



▲冬毛のニホンリス(自動撮影カメラで撮影)



▲ニホンリスが食べたクルミの殻と松かさ

ニホンリスは、本州から四国、九州の平地から亜高山帯の森林に生息する日本固有種です。しかし、西日本の中国地方および九州地方では生息数が減少しており、絶滅が危惧されています。体長16~22cm、尾長13~17cmであり、体と同じぐらい長い尾を持っています。食料は植物の若葉や果実、種子、キノコなどそのほとんどは植物質ですが、昆虫や鳥の卵なども食べることがあります。また、リスの仲間は貯食行動をとることが知られており、秋の間に土の中や木の枝の間などにドングリやクルミを隠し、食べ物の乏しい冬の重要な食料とします。土の中に埋められた種子の一部は忘れられ、翌春に発芽するものもあります。夏と冬で毛が生え替わり、冬は耳の先に長い毛が生えてふっくらとして背中毛の色は灰褐色です。夏はお腹の縁や手足が黄色みがかかり、耳に生える長い毛は無くなり、背中毛の色は赤褐色に変わります。

町内全域に生息していると考えられ、山の中でリスの食べたクルミの殻や松かさを見つけることができます。ニホンリスは冬眠をしないので、家の近くの雑木林で食べ物を探して走り回っている姿を見ることができるかもしれません。

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください

企画展示

「守りたい！只見の野生動植物

—只見町の野生動植物を保護する条例」

期 間:6月25日(月)まで

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー